農林水産大臣　様

2008年5月１６日

菜種栽培に対する助成金継続の請願署名

－「今、見直そう、日本食の伝統と文化を永遠に」－

去る４月２１日国産菜種産地確立委員会において、２００８年度で菜種栽培に係わる助成金が打ち切られるという報告がありました。もしそうなれば、菜種の作付面積を減らし、その結果、

① 原材料確保が難しくなり高価格になり
② 現在よりも安定供給できない状況を作り
③ 国内自給率３９％が更により下がるにちがいありません。

世界的な異常気象、インド・ブラジル・中国などの経済発展に伴う食の変化や穀物類のバイオ燃料への転換により、穀物が減少し世界的物価高を生み出し、第三世界の貧困層では穀物の値上げに伴う社会不安が引き起こされています。このような情勢を踏まえ、自分たちが食べるものは自分たちでまかなえるように、食料自給率を高め、食の安心・安全を確保しなければなりません。

国産菜種栽培に対する助成金を打ち切ることがないよう申し入れます。

国産菜種産地確立全国検討委員会
〒６９３－００３５
島根県出雲市芦渡町５８３－１
有限会社　影山製油所
代表取締役　秦　利信
電話　　０８５３―２１―１９４８
ＦＡＸ　０８５３－２４－２６３５

氏　　名	住　　所

※ お預かりした個人情報は、署名以外の目的には使用いたしません。
※ 集約は２００８年１０月末　（住所は県からの記入でお願いします）